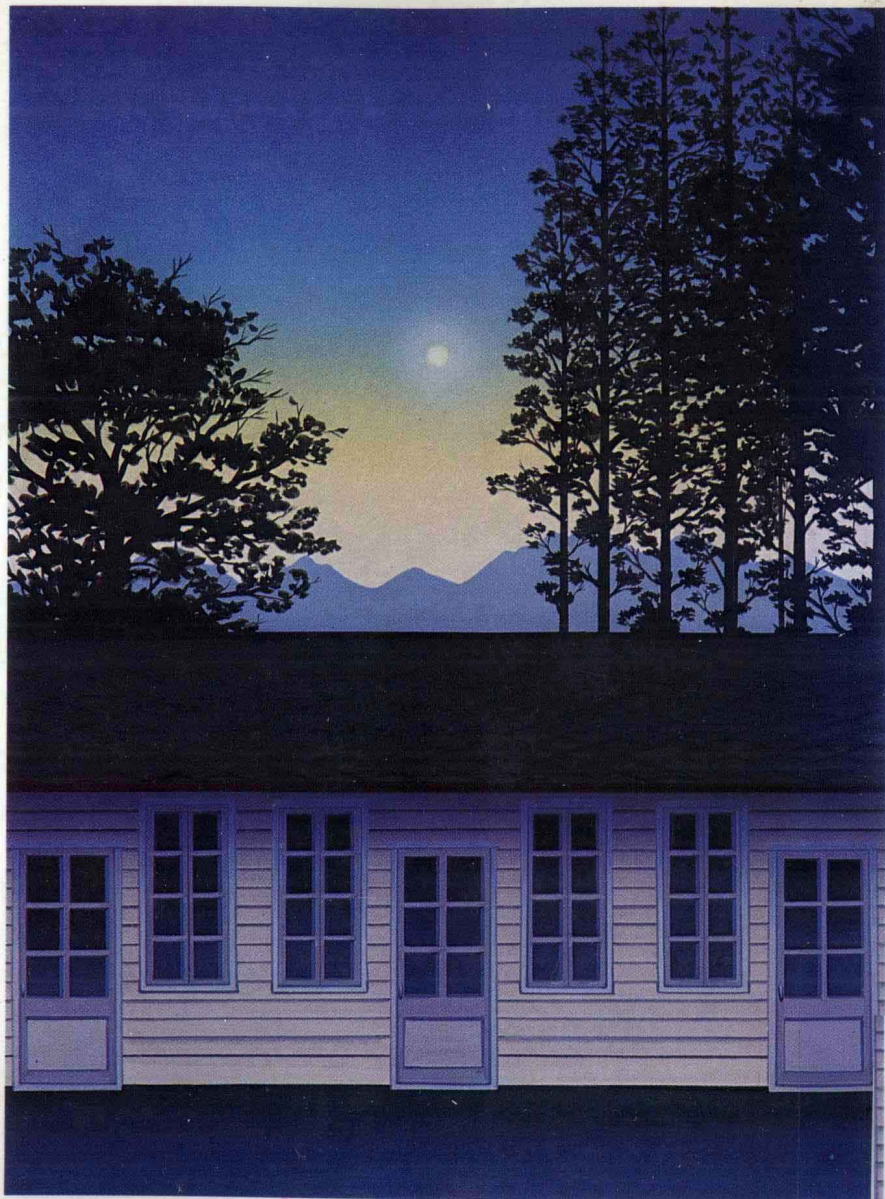


消せない時間

塚原将



SHINSHOKAN 93



検 印
廃 止

消せない時間

1977年7月25日 * 初版発行©

著者 * 塚原 将

編者 * 小椋 佳

発行者 * 坂本洋子

発行所 * 株式会社新書館

東京都文京区千石 1-21-7

電話 * 946-5331 振替 * 東京4-53723

郵便番号 * 112

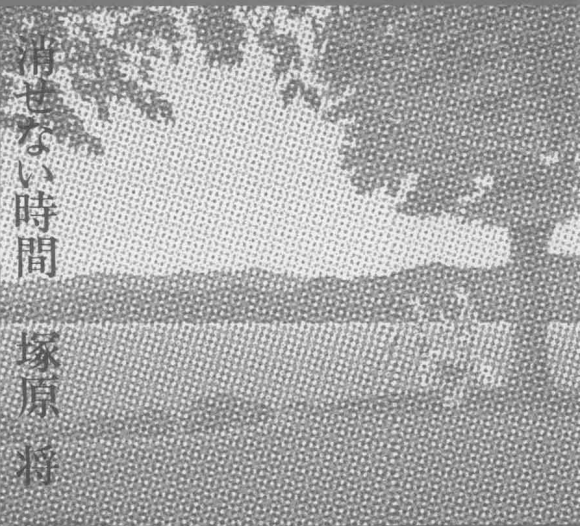
東洋印刷

落丁・乱丁の際はお取替いたします

(分)0-0-92(製)000093(出)3136



消せない時間
塚原将



HINSHOKAN

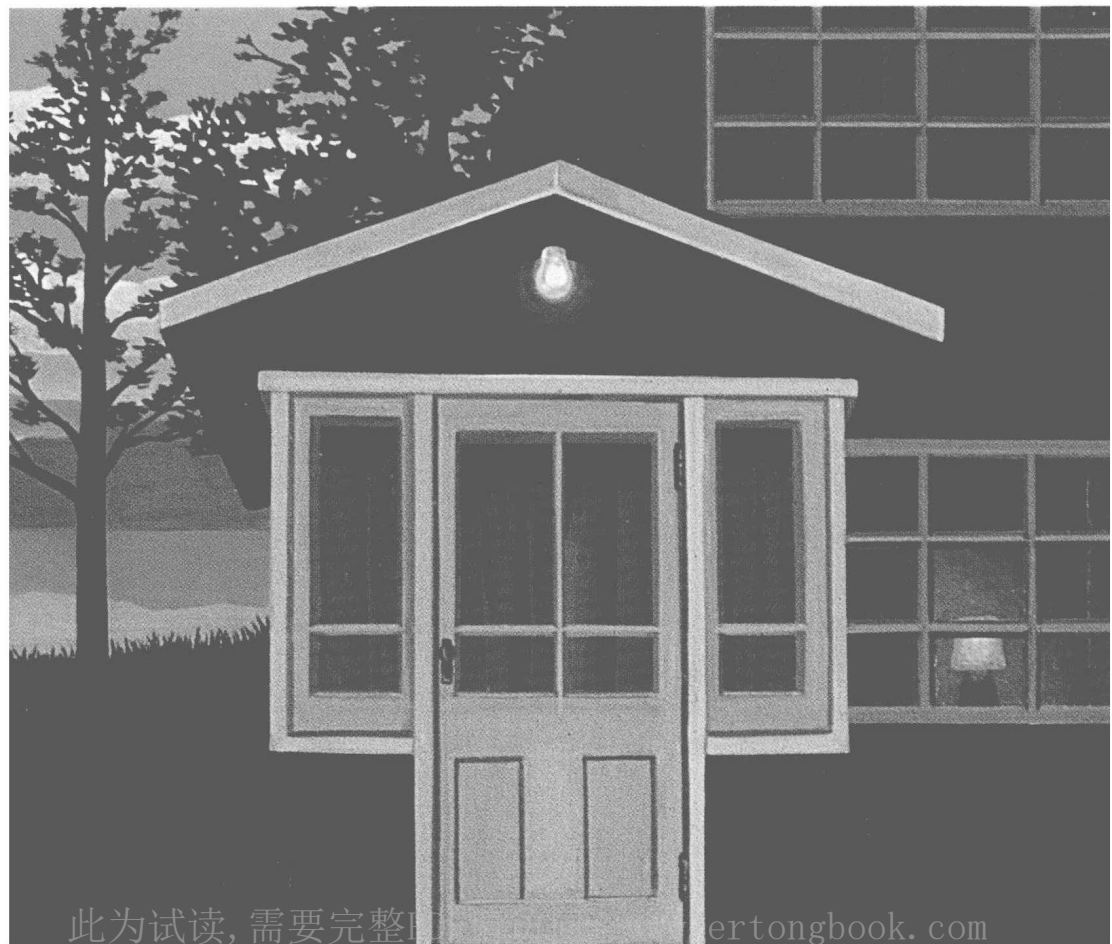
ふりむいた夏

うすく伸びた雲を
風が追っていつて
まぶしさを

ひと時感じさせると

わたしのよろめいた足元から
かけのぼった波が

雲より高い処で砕け散った



一瞬

まばゆさばかりの空に

少女の顔が傾いて浮かんで

急激にひき戻された記憶が

白い手で

わたしの頬を打った

今日

突然夏がふりむいたので――



消せない時間*目次

★消せない時間

消せない時間——10

出逢い——12

片想い——14

あなたの絵——15

ふれあい——16

愛の移行——17

愛の型——18

真夜中の愛——21

★嘘つき

嘘つき——24

吹雪の夜に——25

わたしの想いは——26

何故——27

木枯しのなかで——28

あくび——29

初秋——30

コスモス——31

流れゆく花に——32

その日——33

★指先

指先——36

くせ——37

サングラス——38

一重の花——40

穴——41

面——42

薔薇——43

写真——44

小鳥の目——46

切符——48

銃声——49

★初夏の訪れ

初夏の訪れ——52

雨の日——53

初夏の雨——54

緑の路——56

秋の陽——57

秋の夕暮れ——58

寒夜——59

雪模様の日に——60

遠い冬——62

★白いままに

歳月のなかに——64

減ってゆく時間に——65

林の中に——66

白いままに——68

ススキのなかに——70

夢のなかに——72

雨の街に——74

★思い出話

あなたの歌に——76

思い出話——77

同窓会——78

青い実——80

ある会話——82

胸中——84

疲れきった庭——86

一本の木のある風景——87

終止符——88

★サボテン

サボテン——92

天気予報——94

初秋の朝顔——95

路地——96

睡蓮——98

秋の蟬——99

桃の一枝——100

魚——102

★涙

涙——104

残影——105

少年の日——106

小さな影のようなものでも落とせれば——塚原 将——139
心待ちにしていた「消せない時間」——小椋 佳——140

一枚の絵——108
信州——109

車窓の海——111

優しい夢——112

★呼びかけ

呼びかけ——116

死——117

遠い安らぎ——118

なにもない時間——120

わたし——122

夢——123

頂——124

能力——125

逃げたい——126

★いくつもの別れの後に

いくつもの別れの後に——128

短い過去に——130

感傷——131

手紙——132

あのひと——134

言い訳——136

目を閉じる幸せ——137

サヨナラ——138



消
せ
な
い
時
間

消せない時間

消しきれない鉛筆の跡のような
ひとときが

閉ざした心の片隅にある

錆びついてしまった窓のむこうで
誰かがひとつの歌を口ずさんでいる

何故誰カナドトイウノダロウ

みんな憶えているのに

忘れてしまったふりをして

明るい色に染めた心の壁に

たった一枚の枯れたつたの葉が

何時も――

出逢い

光が溶けこんでくる時間のなかで
花がひらいていくことを

花がひらいていくなかで
香りが強まっていくことを

香りが強まっていくなかで
姿がととのえられていくことを

姿がととのえられていくなかで
花が波に似た型をすること

孤^{ひと}りきりでみつめている時に
ふと

あなたとの出逢いの日が
わたしを淡く包みこんだ

片想い

ひとつ　ひとつ

ていねいに言葉を噛みくだいていつて

あなたの心が

むこうをむいていることに

気づいたのです

あなたの絵

うすい色ばかり使って
あなたの絵を描いた

わたしの心の底にまで
哀しみが沈んでくるうちに
想い出になってしまうように